2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名	南海化学株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	4040	URL	https://www.nankai-chem.co.jp/
代　　表　　者	（役職名）代表取締役社長執行役員	（氏名）杉岡 伸也	
問合せ先責任者	（役職名）取締役執行役員業務本部長	（氏名）長津 徹	(TEL)06-6532-5596
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	2026年12月４日

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	9,315	1.5	1,052	73.3	1,092	74.4	822	89.2
2026年３月期中間期	9,176	4.4	607	17.6	626	0.6	434	△2.8

（注）包括利益　2027年３月期中間期　915百万円（ 146.4%）　2026年３月期中間期　371百万円（△28.0%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	411.42	409.07
2026年３月期中間期	215.27	213.98

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	19,014	12,036	62.7
2026年３月期	19,454	11,171	56.8

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　11,928百万円　　2026年３月期　11,050百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	25.00	―	35.00	60.00
2027年３月期	―	30.00			
2027年３月期(予想)			―	35.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,700	3.0	2,300	35.3	2,340	32.9	1,260	△54.6	624.14

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）　　―　、除外　　―社（社名）　　―

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（注）詳細は、添付資料Ｐ.10「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	2,330,330株	2026年３月期	2,330,330株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	328,493株	2026年３月期	336,405株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	1,999,200株	2026年３月期中間期	2,019,324株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料３ページ「１.当中間決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 10
（セグメント情報等） …… 11

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、米国の通商政策を巡る不確実性の継続や中国経済の減速に加え、中東情勢の緊迫化等により資源価格高騰や供給の不安定化が生じており、依然として先行き不透明な状況が続いております。日本国内においては、雇用・所得環境の改善が見られる一方、円安の進行や地政学リスクに伴う資源価格や原材料価格の上昇に伴う物価高等、予断を許さない状況が続いております。

このような経済情勢のもと、当社グループは2027年３月期までの中期経営計画として「サステナブルな明日を創る」のスローガンのもと、重点施策である、①収益基盤の強化、②環境リサイクル事業領域拡大、③サステナブル経営の推進の達成に向け、諸施策を適切に実施いたしました。

上記の結果、当中間連結会計期間の売上高は9,315百万円（前年同期比1.5%増）となり、損益面につきましては、営業利益は1,052百万円（前年同期比73.3%増）、経常利益は1,092百万円（前年同期比74.4%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は822百万円（前年同期比89.2%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

＜化学品事業＞

基礎化学品につきましては、一部製品においては需要減により販売数量が減少したものの、地域に根ざした販売体制のさらなる強化及び価格是正に取り組みました。

機能化学品につきましては、適宜適切な価格是正に取り組み、アグリにつきましては、好天及び中東情勢を受けた先取需要により販売数量増加となりました。

環境リサイクルにつきましては、廃硫酸リサイクルの新規顧客獲得推進等を積極的に行いました。

上記の結果、売上高は8,455百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は1,600百万円（前年同期比33.2%増）となりました。

＜各種塩事業＞

各種塩事業につきましては、気候変動の影響により梅の収穫量が減少し、当社製品の需要が減少した結果、売上高は860百万円（前年同期比2.5%増）、セグメント損失は75百万円（前年同期は39百万円のセグメント損失）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①　財政状態の状況

（資産）

当中間連結会計期間末の資産合計は19,014百万円となり、前連結会計年度末に比べ440百万円減少しました。

流動資産につきましては、主に原材料及び貯蔵品が250百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が663百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ495百万円減少し、9,316百万円となりました。

固定資産につきましては、主に土地が61百万円減少しましたが、機械装置及び運搬具が47百万円、投資その他の資産に含まれる投資有価証券が102百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ56百万円増加し、9,685百万円となりました。

繰延資産につきましては、12百万円となりました。

（負債）

当中間連結会計期間末の負債合計は6,977百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,305百万円減少しました。

流動負債につきましては、主に買掛金が344百万円、賞与引当金が79百万円、その他に含まれる未払金が235百万円と未払消費税が173百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ935百万円減少し、4,030百万円となりました。

固定負債につきましては、主に長期借入金が296百万円、その他に含まれるリース債務が60百万円、社債が50百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ369百万円減少し、2,947百万円となりました。

（純資産）

当中間連結会計期間末の純資産合計は12,036百万円となり、前連結会計年度末に比べ864百万円増加しました。利益剰余金が745百万円増加したことなどによるものです。

②　キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は1,891百万円となり、前中間連結会計期間と比較して262百万円の増加となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は1,115百万円（前年同期は398百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前中間純利益の計上1,070百万円、売上債権の減少808百万円、棚卸資産の増加436百万円、仕入債務の減少345百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により支出した資金は731百万円（前年同期は383百万円の収入）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出785百万円、有形固定資産の売却による収入94百万円、関係会社株式の取得による支出50百万円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により支出した資金は594百万円（前年同期は803百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出394百万円、社債の償還による支出50百万円、リース債務の返済による支出72百万円、配当金の支払額75百万円などによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月14日の「2026年３月期　決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,040	1,891
受取手形及び売掛金	4,312	3,649
電子記録債権	351	278
商品及び製品	1,190	1,328
仕掛品	84	118
原材料及び貯蔵品	1,416	1,666
その他	422	388
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	9,812	9,316
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,527	4,536
機械装置及び運搬具（純額）	2,365	2,412
工具、器具及び備品（純額）	257	255
土地	472	410
リース資産（純額）	20	21
建設仮勘定	137	104
有形固定資産合計	7,780	7,741
無形固定資産	519	480
投資その他の資産	1,329	1,463
固定資産合計	9,629	9,685
繰延資産	13	12
資産合計	19,454	19,014

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,698	1,353
１年内償還予定の社債	100	100
１年内返済予定の長期借入金	770	673
未払法人税等	251	301
役員株式給付引当金	14	8
賞与引当金	277	198
その他	1,854	1,395
流動負債合計	4,966	4,030
固定負債		
社債	600	550
長期借入金	1,852	1,555
退職給付に係る負債	263	277
資産除去債務	166	167
株式給付引当金	151	169
その他	282	227
固定負債合計	3,316	2,947
負債合計	8,283	6,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	454	454
資本剰余金	178	178
利益剰余金	11,243	11,989
自己株式	△1,185	△1,153
株主資本合計	10,690	11,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133	152
繰延ヘッジ損益	△8	△0
為替換算調整勘定	235	308
その他の包括利益累計額合計	359	460
非支配株主持分	121	107
純資産合計	11,171	12,036
負債純資産合計	19,454	19,014

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	9,176	9,315
売上原価	6,456	6,234
売上総利益	2,719	3,081
販売費及び一般管理費	2,112	2,029
営業利益	607	1,052
営業外収益		
受取利息	4	2
受取配当金	10	16
賃貸収入	46	30
持分法による投資利益	16	28
補助金収入	20	4
その他	10	6
営業外収益合計	108	89
営業外費用		
支払利息	34	24
賃貸収入原価	21	7
為替差損	2	3
その他	31	14
営業外費用合計	89	49
経常利益	626	1,092
特別利益		
固定資産売却益	0	37
投資有価証券売却益	－	9
その他	－	0
特別利益合計	0	47
特別損失		
固定資産売却損	0	11
固定資産除却損	72	58
減損損失	3	0
火災損失	20	－
その他	0	－
特別損失合計	97	69
税金等調整前中間純利益	529	1,070
法人税等	99	255
中間純利益	430	814
非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△4	△7
親会社株主に帰属する中間純利益	434	822

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	430	814
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5	19
繰延ヘッジ損益	0	8
為替換算調整勘定	△64	72
その他の包括利益合計	△58	100
中間包括利益	371	915
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	376	923
非支配株主に係る中間包括利益	△4	△7

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	529	1,070
減価償却費	587	612
減損損失	3	0
火災損失	20	－
賃貸収入	△46	△30
補助金収入	△20	△4
賞与引当金の増減額（△は減少）	△75	△79
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△7	△38
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△4	14
役員株式給付引当金の増減額（△は減少）	△15	△5
株式給付引当金の増減額（△は減少）	18	17
受取利息及び受取配当金	△14	△19
支払利息	34	24
持分法による投資損益（△は益）	△16	△28
固定資産除却損	72	58
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△9
固定資産売却益	△0	△37
固定資産売却損	0	11
売上債権の増減額（△は増加）	1,028	808
棚卸資産の増減額（△は増加）	△64	△436
仕入債務の増減額（△は減少）	△159	△345
未払消費税等の増減額（△は減少）	21	△173
その他	△1,419	△90
小計	472	1,318
利息及び配当金の受取額	14	19
利息の支払額	△32	△24
法人税等の支払額	△122	△232
賃貸料の受取額	46	30
補助金の受取額	20	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	398	1,115
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△622	△785
有形固定資産の売却による収入	－	94
有形固定資産の売却に係る手付金収入	1,000	－
無形固定資産の取得による支出	△12	△11
投資有価証券の売却による収入	－	10
関係会社株式の取得による支出	－	△50
貸付金の回収による収入	18	18
資産除去債務の履行による支出	－	△9
その他	△0	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	383	△731

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△130	－
長期借入金の返済による支出	△478	△394
社債の償還による支出	△50	△50
リース債務の返済による支出	△64	△72
ストックオプションの行使による収入	4	4
配当金の支払額	△76	△75
非支配株主への配当金の支払額	△8	△6
その他	－	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△803	△594
現金及び現金同等物に係る換算差額	△52	61
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△74	△149
現金及び現金同等物の期首残高	1,703	2,040
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,628	1,891

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

当中間連結会計期間において、株式会社高知物流の株式を取得したため、持分法適用の範囲に含めております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算方法）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		計	調整額（注１）	中間連結損益計算書計上額（注２）
	化学品事業	各種塩事業			
売上高					
外部顧客への売上高	8,337	839	9,176	―	9,176
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	44	44	△44	―
計	8,337	883	9,221	△44	9,176
セグメント利益又は損失（△）	1,201	△39	1,161	△554	607

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「化学品事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当中間連結会計期間の当該減損損失の計上額は３百万円であります。

当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		計	調整額（注１）	中間連結損益計算書計上額（注２）
	化学品事業	各種塩事業			
売上高					
外部顧客への売上高	8,455	860	9,315	―	9,315
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	22	22	△22	―
計	8,455	882	9,338	△22	9,315
セグメント利益又は損失（△）	1,600	△75	1,524	△472	1,052

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「化学品事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当中間連結会計期間の当該減損損失の計上額は０百万円であります。